

## 向日町営業所に

## CAD配置

辻井木材センター

木材建材総合問屋の

辻井木材センター（京

都市、辻井毅社長）

は、向日町営業所（京

都府向日市）のプレカ

ットの仕事量が増えて

きたことから、CAD

センターを設置しCA

D体制の強化を図る。

同社は従来から三条

営業所（本社）と栗東

営業所（滋賀県栗東

市）にCADセンター

を設置しており、これ

まで向日町営業所のプ

レカットCADについ

ては三条営業所が対応

していた。しかし、最近は向日町営業所のプレカット受注が増えているため同営業所にもCADセンターを設置した。

向日町営業所は競争の激しい地域で、ベテランのCAD要員を配置し工務店との関係を密接にして新規プレカット受注の確保を図っている。建材等の受注増に力を入れ、家1棟分の販売を目指す。

CAD要員は三条営業所4人、栗東営業所3人、向日町営業所1人の体制になる。「プレカットの仕事は販売先が間に入るが、CA

D要員と工務店のパイプを太くすることで信頼性も高まる」（辻井社長）と話す。同社はクレームのない正確な図面づくり、変更について丁寧な対応が強みだが、さらにCADの体制を強化する。

同社のプレカット加



CADセンターを設置した向日町営業所（京都府向日市）

工棟数は全営業所合計で月間100棟ペース（約4000坪）で、中大型木造物件も扱っている。売上高の内訳は木材販売（プレカット部材を含め）70%、建材30%（合板が20%占める）の割合になる。今回のCAD体制の強化とともに水周り商品の販売も強化する。

また、向日町営業所では顧客の要望にこたえてフリー板の取り扱い量が増え、ゴムやホワイトスプルス、メルクシ松等樹種を常時在庫し品ぞろえにこだわっている。